

かるたシリーズ⑥

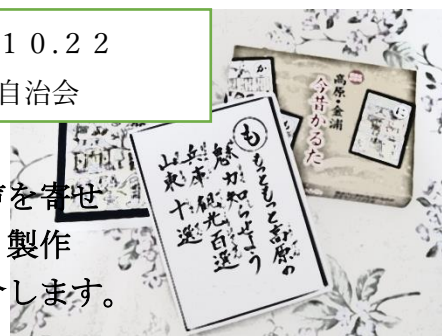
コラム

「高原・金浦今昔かるた」に寄せられた声

かるたを進呈させて戴いた方、購入戴いた方から多くの声を寄せていただきました。反響の大きさにびっくりすると同時に、製作が報われとても嬉しく思っています。いくつかを以下に紹介します。

発行日：2020.10.22

編集・発行：金浦区自治会



「金浦に歩み」に続いて、「高原・金浦今昔かるた」が発刊されました。宝山噴火に伴い夜久野高原が肥沃な土地となり、スイカをはじめ多くの野菜が栽培されています。また、蕎麦や季節の花が咲き夜久野高原一帯が花でいっぱいとなり観光地として知られるようになりました。高原一帯には八十八ヶ所の石仏が建てられ、エドヒガンザクラが植えられ、春には美しい花が出迎えてくれます。

一道貞心が、旅人に一杯のお茶でもてなしたことから茶堂ができ、春と秋のお大師さんには多くの近隣住民がお参りしました。長らくその賑わいもなく寂しく思っていたのですが、最近になって関係者の努力も実り、賑わいが戻りつつあります。

「高原・金浦今昔かるた」を楽しむことで家族の輪が広がり、友達、地域の絆が広がっていくことでしょう。是非、「高原・金浦今昔かるた」を家族、地域で広げていってください。

自治協会長

拝啓 ようやく季節の移ろいを感じはじめました、お元気で活躍のご様子、とても嬉しく存じます。この度、貴殿をはじめ金浦区で自作なさったご労作の【郷土読本】に引き続き、これまた俊作の「高原・金浦今昔かるた」を拝受いたしました。ご発刊おめでとうございます。地域住民の皆様方のみならず、全国津々浦々に異郷にお住まい（金浦ご出身者）の多くの皆様も喜び・感動なさることでしょう。正に、宝です。かるた作成の発想・着眼が凄いと感じます。また、『区長様を交えて地域ぐるみ』の取り組みをなさったことは、私をもっと若ければ真似てみたいことです。あっぱれです。繰り返して「おめでとう」と申しあげます。 80代男性

【寄せられた言葉】 ・労作ですね ・字札の字を見て書いた人が分かった ・句がよく練られている ・字札と絵札がマッチしている ・早速家族で毎日かるた取りをしている ・どことも村（自治会）の活性化が課題だと思う ・販売やポスター掲示に協力させてもらう

—前略— 先日は、「高原・金浦今昔かるた」を送付いただきありがとうございました。早速拝読させて戴きました。美しいかるたの絵に心が落ち着きます。また、歴史的なものから現代生活にマッチしたもの、金浦区の自然の美しさ、読み札の内容等々、興味深く引き寄せられました。また、ホームページも素晴らしく、一つの自治会独自のホームページは全国的だと思いました。区の歴史、自然界、そしてコラムには読みふけりました。個人的に金浦区を散策しようと思います。—中略— 生前、亡父が祖父の里に行くときに歩いて小坂峠を越え、夜久高原を越えて歩いて行ったと言う事を聞きました。茶堂で一服したと言ったのを覚えています。そんなこともあり、いただきましたかるたは仏壇にお供えさせていただきました。 —後略—

60代男性